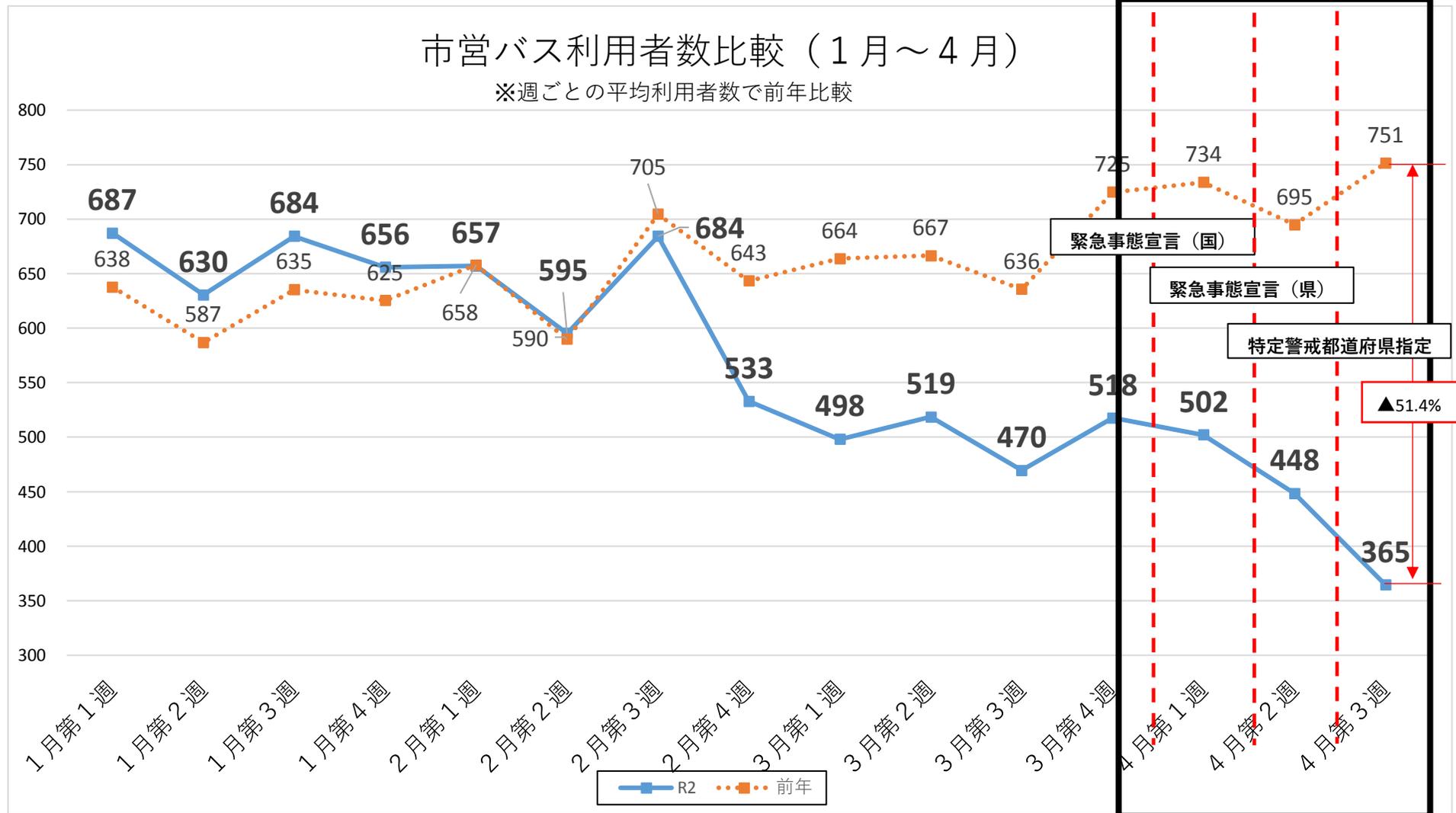


緊急事態宣言後の市営バス利用者の推移

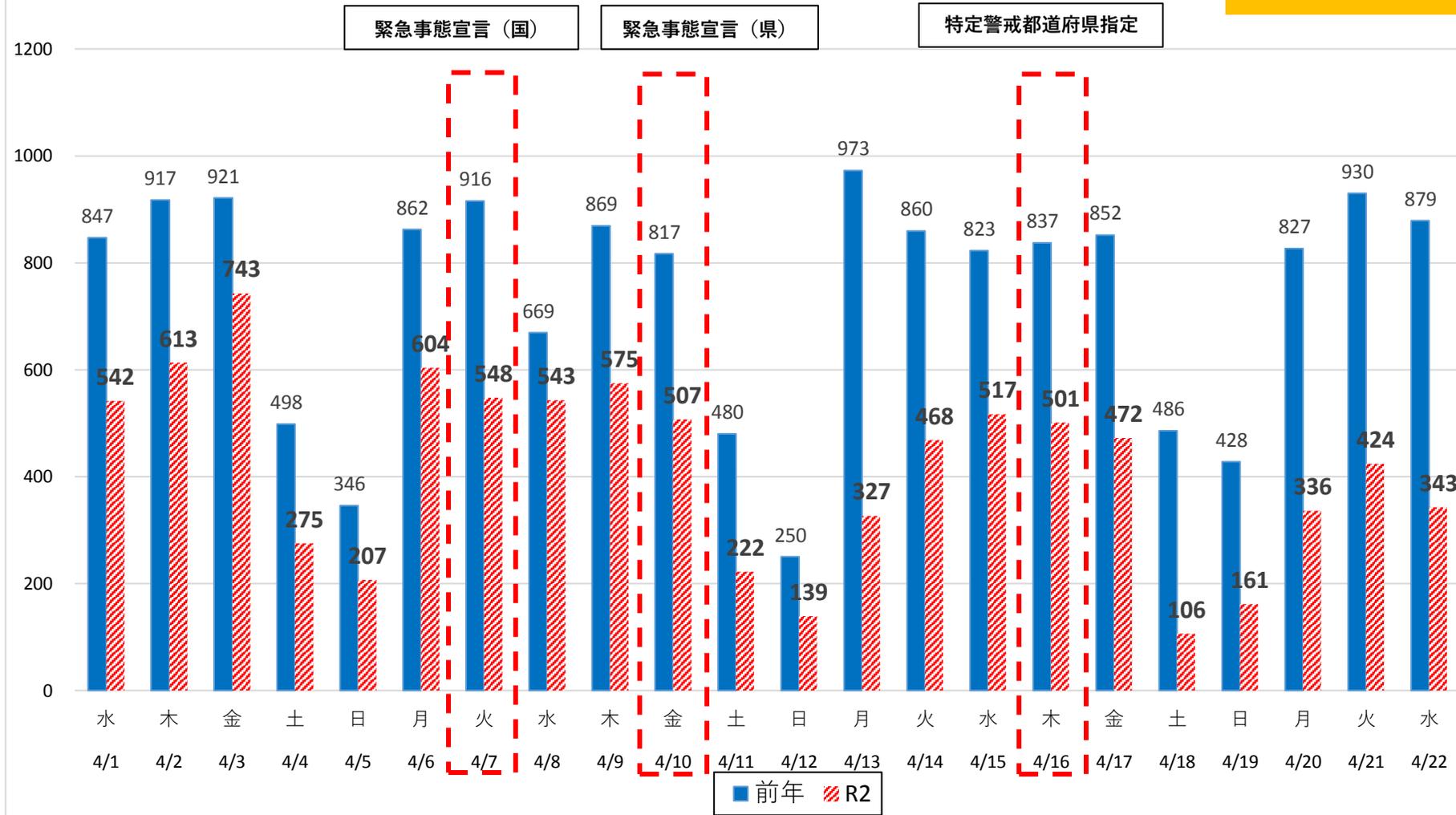
R 2.4.23 都市計画課作成



- ▽ 1月は対前年比増加で推移していたが、2月の第3週から減少に転じ、利用者数の減少が加速している。
- ▽ 国の緊急事態宣言以降、特に減少が顕著であり、直近の4月第3週では前年比51.4%減となっている。

市営バス利用者数比較（全体）

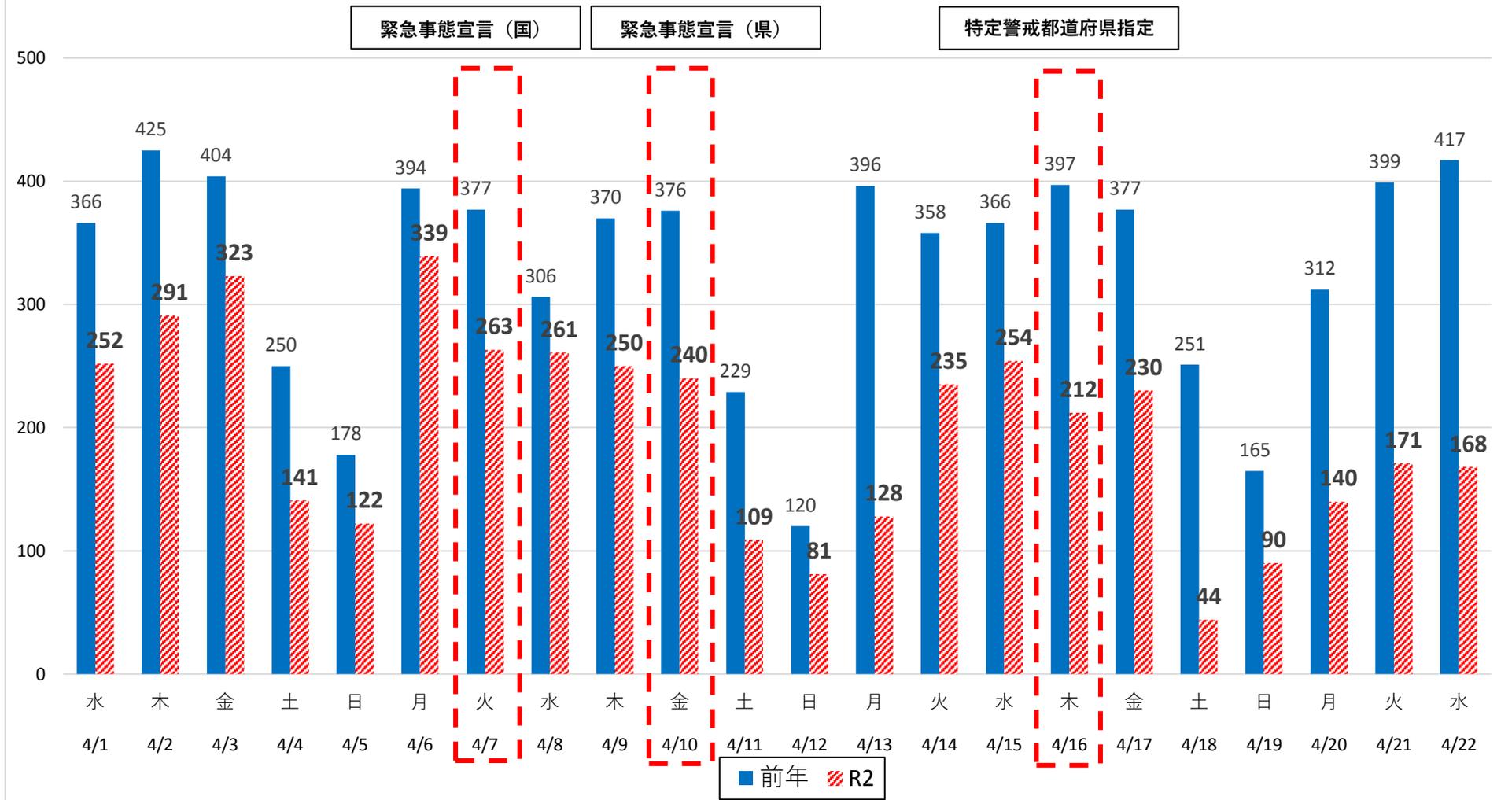
4/1～4/22
前年比△43.7%



▽ 4月当初は、前年比30%程度の減少であったが、国や県の緊急事態宣言後、徐々に減少が加速し、特に特定警戒都道府県指定後は、前年比40～50%程度の減少で推移している。

市営バス利用者数比較（東ルート）

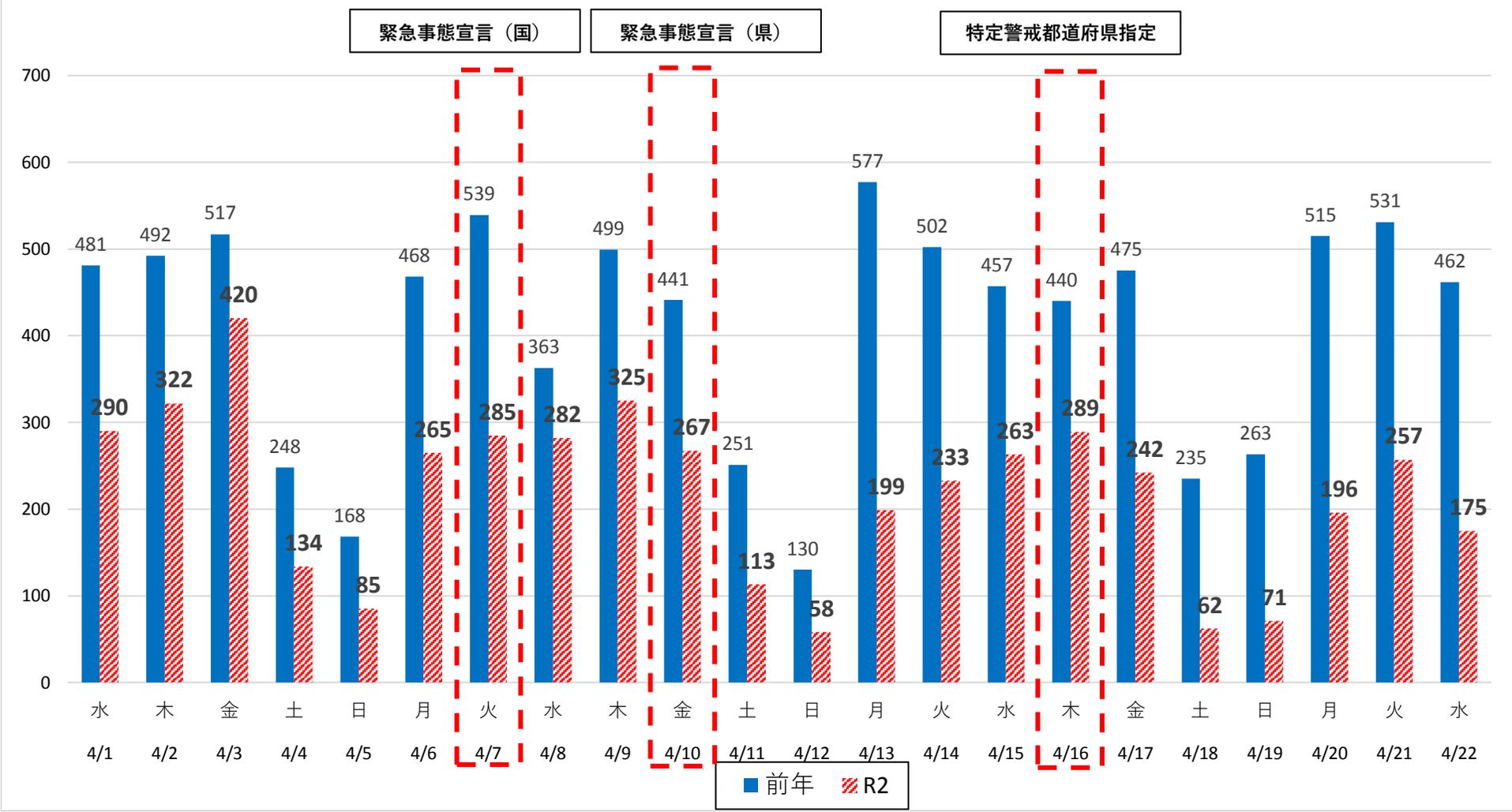
4/1～4/22（東ルート）
前年比△40.0%



- ▽ 東ルートにおける4/1～4/22の利用者数は、対前年比で40.0%減となっている。
- ▽ 東ルートの主要な停留所には、イトーヨーカ堂、バロー等の商業施設があるが、県独自の宣言以降、買い物等の外出を控えている状況がうかがえる。

市営バス利用者数比較（西ルート）

4/1～4/22（西ルート）
前年比△46.6%



▽ 西ルートにおける4/1～4/22の利用者数は、対前年比で46.6%減で、東ルートと比べ減少幅が大きくなっている。

▽ 西ルートは、旭労災病院や愛知医大などへの利用が多いが、新型コロナの影響により通院や見舞いを控えている状況がうかがえる。愛知医大の外来が休止となった4/20以降は、特に利用者の減少が顕著である。